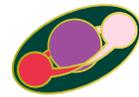


la santé 健康

ラ・サニテ



vol.147
令和2年7月21日

2020 夏

編集・発行:社会医療法人玄真堂
広報委員会:宝珠山理絵、畑辺恵美
中津市宮夫14-1
TEL0979-24-0464
<http://kawashimahp.jp>



『緑衣の女（ひと）』川島 照代画

理念

- 安心・安全・やすらぎ・心のこもったサービスを提供します。
- 地域・住民・患者から評価・信頼される医療を提供します。
- 絶えざる改善と生涯教育を継続し、職員個々の能力を向上します。

運営方針

- 整形外科の専門病院として、良質の医療を提供できるように最善の努力をします。
- 患者、利用者の権利を尊重し、インフォームド・コンセント(説明・同意・納得)を含む安全管理を徹底します。
- 「医は仁ならざるの術、務めて仁をなさんと欲す」の精神を尊重します。
- 社会の変化にしなやかに対応しながら心技態を切磋琢磨し、全人間的な成長を目指します。
- 地域の皆様の健康と生命を守るために最善を尽くします。
- 職業を通じて地域社会に奉仕し、地域の社会的共通資本として認められるように努力します。
- 高齢化社会を迎え、安心・安全と心のこもった医療・介護を提供します。

コロナウイルスと感染症の歴史について

(中津地方文化財協議会で講演)

社会医療法人 玄真堂 川嵐整形外科病院

理事長 川嵐 真人



2019年12月31日、中国湖北省武漢市で原因不明の肺炎が発生したとWHO中国カントリーオフィスに通知された。その後、武漢市の海鮮市場とその周辺で重症の新型コロナウイルス感染症が発生した事が判明してきた。このウイルスは80%が無症状か軽度の風邪症状であり、潜伏期間も2週間と長いので、その期間に20代〜60代の元気な人達が移動する事によって感染を引き起こす、つまりクラスターを形成していった。それが次第に中国全土へ、そしてアジアから全世界へと瞬く間に拡散・拡大し、世界的大流行(パンデミック)を引き起こした。そして経済的、社会的にも大きな影響を与えてい

る。2020年7月15日現在、全世界の感染者数は約1,320万人、死者約58万人で、アメリカでは感染者数約344万人、死者は約14万人を超すというとてもない感染拡大が起こっている。これはヨーロッパにおいても同じで、特に財政改革のために750か所もの病院を閉鎖し、医師と看護師を5万人も削減するなど、行き過ぎの医療抑制をしたイタリアにおいては完全な医療崩壊状況となっている。その影響もあつてか、瞬く間に8万人を超す人達が発症し、まるで野戦病院の様なテントの中で助けを求めている患者の姿が日夜報道されている。人工呼吸器も防護服もなく、医師や看護師も不足しているため、学生まで動員されているというパニック映画のようなありさまがテレビでも放映されている。

一方、最も医療が発達していると言われているアメリカが驚くほどの感染者数と死者数を出したのは、いわゆるオバマケアが進められてきた医療保険改革をトランプ大統領が中止した事で3,500万人もの無保険者が出た事が誘因だと伝えられている。感染者達は検査や治療を受ける事もなく死亡し、ニューヨーク市郊外の海岸に穴を掘ってそこに埋葬される様子が、まさにスペイン風邪の時と同じような光景として報道されている。

このように、社会保障や医療を抑制するとどのような結果をもたらすかという事を今回の新型コロナウイルス感染症のパンデミックが良く示している。医療や社会保障が人間の命を守るという点では、戦争で命を防衛するのとなんら変わらないのである。その反面、日本では社会保障や医療の抑制が叫ばれながらも医療従事者達の命がけの治療努力と熱意で、感染者のPCR検査数が少ないと言われるながらも死者数は約984人と人口比にしては少なく抑え込んでおり、大いに自信を持ってよいのではないかと

思っている。しかし、現実としては、この影響でコロナ患者を請け負った病院では数10億円の赤字が発生しており、また請け負っていない病院でも2〜3割の減収が起こっている事を考えると、ドイツのようにこの保証をしないと2次的な医療崩壊が起こるのではないかと不安に思っている。

7月15日現在、日本では感染者数は約23,000人、死者約984人と、世界水準と比較すれば実に少なく抑え込んでいると世界から称賛されているのが現実である。死亡者の分析を見ると70歳以上が大半という事で予想されたように高齢者が主になっている。これは若い無症状の感染者が移動する事によって感染を拡散させて免疫力の落ちてくる高齢者を感染、死亡させている事がわかる。

大分県は60人を最大としてその後85日以上、感染者は発生していないし、コロナ専用

ベッドの使用率も0%で空きベッドも十分に余裕がある。地方など人口の密集していない場所に住む事の安全性がいかに高いかという事が立証されている。

この新型コロナウイルスは野生のコウモリが持っていたウイルスが主体で、タヌキや蛇、アカゲザル、ハクビシン、タケネズミ、イタチなどを媒介として人間にうつされたと言われている。人間が自然界をあまりにも侵し壊したため自然界の野生動物と人間との距離が極端に縮み、無差別に野生動物を食してきた事も大きな原因の一つと言われている。

日本はPCR検査数が少な

いと国民から批判されたが、検査方法も抗体検査や抗原検査が少しづつであるが導入されつつある。このようなパンデミックを経験して色々と学ぶ事も多かったようである。

人類は紀元前の昔からペストやコレラ、結核などのパンデミックを経験している。更にコロナウイルスの新しい形のサーズやマーズも経験してきた。この様に新しいウイルスのパンデミックを経験するたびに人類はさまざまな反省と工夫、創造をしてきた。

特に麻疹や天然痘はコロナブスのアメリカ発見以来、ヨーロッパから中南米や南アメリカに移動したことでインカ帝国などの崩壊につながった事がわかってきている。

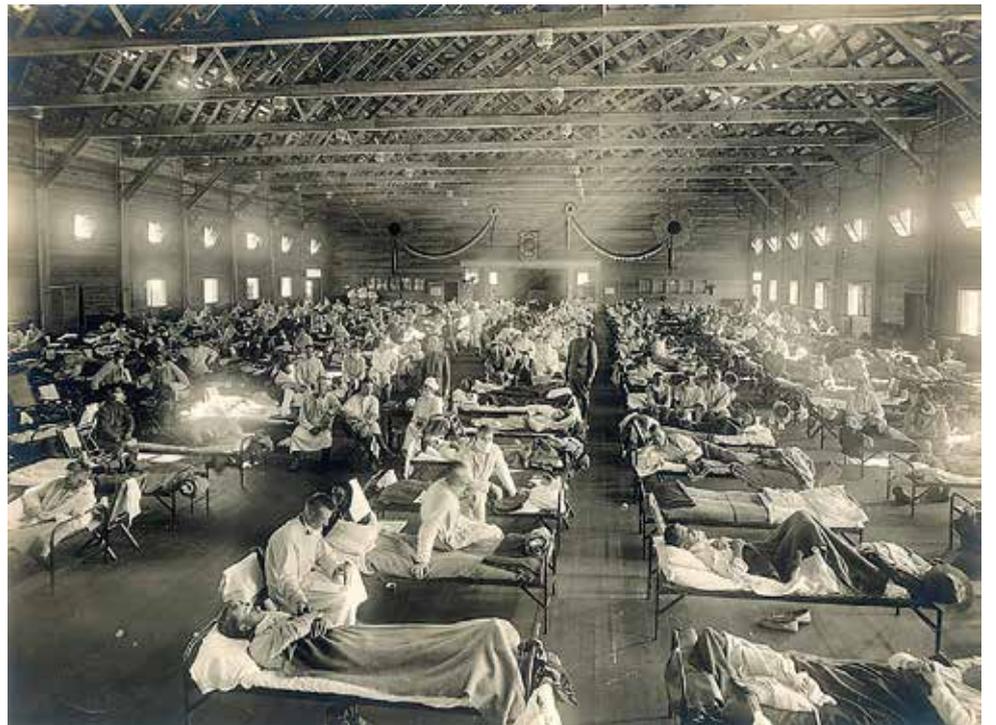


キクガシラコウモリ

このように人間が移動するというのが同時にウイルスや細菌も移動し、交換し合って拡散していくという

事を、今回ほど如実にしかも短期間に起こるという事を感じた事はなかった。今回と似たような短期間のパンデミックとしては1918年〜1920年に起こったスペイン風邪と言われるインフルエンザのパンデミックである。これは第一次世界大戦に出兵した時に感染した兵士達の移動に伴って拡散し、感染者が5億人、死者は1,700万人〜5,000万人とも言われている。

日本においても多くの感染者があり、大きな数の犠牲者が出たと伝えられている。このスペイン風邪のの流れを見ると第1次で25万人、第2次で12万人、第3次では3,698人、合計38万人が死亡している。このようなパンデミックが3回にわたり起こってきたという事を考えると、今後、新型コロナウイルスが、今はとりあえず落ち着きつつあるようだが、いつ第2次、第3次感染が起こってくるかわからないので十分な警戒を怠ってはいけない。



スペイン風邪1918年_米国カンザス ファーストン基地

人間界の勢力圏の拡大、森林や自然破壊をした結果、野生動物の生息地を狭め、生き残りのためにウイルスが人に寄生する。その上、増える家畜の過密な飼育、高齢者の増加や免疫力の低下、これらがパンデミックを起こしている

事を我々は十分に理解、反省しなければいけない。

そして、我々はこれを新たな生き方、新たな文明、新たな仕組みを創造するチャンスとすべきであろう。「夜明けの来ない夜は無い」という言葉を信じよう。『苦楽吉祥』

新型コロナウイルス感染症と関節リウマチ

社会医療法人 玄真堂 川島整形外科病院

院長 川島 眞之



新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は私達の生活に様々な影響を及ぼしました。免疫抑制剤を投与されている関節リウマチの患者さんは、自分が感染してしまうのではないかと心配された方も多かったのではないのでしょうか。しかしながら、今のところ関節リウマチの患者さんが新型コロナウイルスに感染しやすいという明らかな報告はないようです。

また、最近ではテレビなど

でも報道されていますが、新型コロナウイルス感染症が悪化する際にはサイトカインストーム（細胞から炎症を引き起こす物質が大量に分泌されること）が発

生しており、関節リウマチの治療で使用されているトシリズマブ（アクテムラ）等の生物学的製剤やJAK阻害剤の効果が期待されています。新型コロナウイルス感染症の重症患者にトシリズマブを投与しても、特に合併症は起こさず全例が無事回復したとの報告（症例数は少数ですが）もあります。また、活動性結核やB型肝炎などでは以前から炎症性サイトカインの強い関与が考えられており、これら

の疾患を持つ関節リウマチ患者さんで免疫抑制剤を投与されている方が、急に薬物治療を中止すると、結核や肝炎がむしろ悪化してしまうことが知られていました。これらのことから新型コロナウイルス感染症にかかった関節リウマチの患者さんが、急に薬をやめてしまうと関節リウマチが悪化するのみならず新型コロナウイルス感染症も悪化する可能性が考えられます。

今後、新型コロナウイルス感染症の第2波も懸念されますが、その際も自分の判断で受診・服薬の中止はせず、担当医とよく相談して治療の継続を行ってください。また、新型コロナウイルスは基本的には飛沫感染が主な感染経路

であることが分かっていますので、手指消毒やマスク装着、3密を避ける、換気を十分に行う、不要不急の外出を避ける、など基本的な予防をしっかりと行ってください。



回復期リハビリテーション病棟を 開設いたしました

回復期病棟 看護師長 酒井 洋子

副主任 椎野 江美



広々とした清潔感のある場所で集中してリハビリテーションが行えます

この度、川島整形外科病院では、2020年4月1日から回復期リハビリテーション病棟（50床）を開設いたしました。

回復期リハビリテーション病棟は、大腿骨や背骨などの骨折で急性期を脱しても、サポートの継続が必要な患者さんに対してリハビリテーションを実施して、自宅や社会に戻られることを目的とした病棟です。

医師、看護師、薬剤師、運動療法士、作業療法士、栄養士、看護補助者、医療ソーシャルワーカー（相談員）といった各職種がチームとなって医療・介護を行い、その人らしい生活を取り戻せるように、動作の改善・向上を目指します。

入院後は、患者さん一人ひとりに合わせた計画を立て、専任スタッフによるリハビリテーションを集中的に行います。リハビリは訓練室で行う

訓練だけではなく、病棟でのあらゆる生活場面が自宅に帰るためのリハビリとなるため、起床してから就寝までの間、『着替え』『食事』『歯磨き』『整容』『入浴』『排泄』など、日常生活に必要な動作が自立

でき入院前の生活に少しでも近づけるようにサポートを行います。他にも家屋調査を行い、家屋改修や各種サービスの調整など在宅復帰に向けた様々なサービスをご紹介いたします。

入院に際し

ては、厚生労働省より決められた疾患条件や入院期間などがありますので、詳しくは医師あるいは医療ソーシャルワーカーにご相談ください。

中津市内で初めての回復期リハビリテーション病棟となります。センター長をはじめ職員一同、これまで以上に地域社会の皆様にご貢献できるように取り組んで参りたいと思います。



晴れた日は八面山が見渡せる食堂兼ラウンジで心も癒やされます

新任挨拶



医師 濱田 泰彰

今年度から当院で勤務することとなりました。濱田泰彰と申します。趣味はバレーボールですが、スポーツ全般が好きです。最近では家トレにハマっているのですが、そのせいか、夜間耳鳴りするようになりました。そのようなこともありませんが、バレーボールやトレーニングしている方は、ぜひおっしゃってください。このご時世に負けず、元気に明るく仕事に励んでいきたいと思っています。ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひします。



新型コロナウイルス感染症を乗り越えましょう！



医長 渡邊 裕介

全世界で新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっています。当院においても入院患者の面会制限やクリニック患者の体温測定などで皆様には多大なご負担をお掛けしております。皆様方のご協力、ご支援に心より感謝いたします。ウイルスとの戦いに勝利するにはみなで一致団結することが必要です。私が特に憂慮しているのは差別や偏見がみんなの団結を阻害することです。コロナ感染者に対する誹謗中傷は厳に慎んで頂きたい。もしかすると、感染者にも不用意な行動があったかもしれません。しかし、感染者を誹謗中傷することは症状を自覚しても病院へ受診することをためらう人を生み、それが感染のさらなる拡大へとつながるのである。コロナに対する恐れと不安はだれもが抱くもので当然だと思います。恐れや不安を乗り越え、冷静に他者に対する思いやりを持って行動していきたいと思ひます。

大分合同新聞 2020年(令和2年)5月11日(月曜日)



天然痘の研究に尽力
辛島正庵の菩提寺
「疫病退散」を祈念
【中津】新型コロナウイルス感染症の終息を願い、中津市寺町の大法寺(山田住持)で11日、折々があつた。天然痘の罹り方、ワクチンの研究に尽力した江田代徳の菩提寺、辛島正庵(1770-1858)の菩提寺。その遺徳にあやうと、集まつた市民12人が手を合わせ、天然痘は、かつて世界各地で猛威をふるつたウイルスを根絶し、撲滅し、天然痘の終息を願い、中津市寺町の大法寺(山田住持)で11日、折々があつた。天然痘の罹り方、ワクチンの研究に尽力した江田代徳の菩提寺、辛島正庵(1770-1858)の菩提寺。その遺徳にあやうと、集まつた市民12人が手を合わせ、天然痘は、かつて世界各地で猛威をふるつたウイルスを根絶し、撲滅し、天然痘の終息を願い、中津市寺町の大法寺(山田住持)で11日、折々があつた。



新型コロナウイルスの拡大はとまらぬことを知らず国際的な大流行(パンデミック)になつていく。今や全世界の人々を感染と経済的なパニック状態に陥れ、生活様式の大転換を強いられている。

このようなパンデミックは何もコロナに限らず、感染症の歴史を振り返るとたびたび人類に襲い掛かつてきている。特にその始まりとしては紀元前430年、ペロポネソス戦争の最中に艦城としていたアテナの戦士を感染症が襲い、多数の犠牲者が出た。この疫病が天然痘か麻疹チフスともいわれ、感染症の大流行だったことはよく知られている。



川島 真人

最終的には感染症を抑制できるといふことで、世界中が競つて新型コロナウイルスのワクチンや治療薬を開発している。いずれ新型コロナウイルスも制圧され、風邪と同様に人類と共存することになる。

(川島整形外科病院理事長・中津市)

大分合同新聞 2020年(令和2年)5月25日(月曜日)

新型コロナウイルス 感染症対策について



川島整形外科病院

検査科 副主任

小出石 雅美

厚生労働省の通達により当院では3月より面会を制限する対応をとらせていただいております。皆様には大変ご迷惑・

ご不便をおかけしております。

ご来院される皆様には受付にて検温と手指消毒、マスクの着用、咳の有無などの健康チェックをさせていただいております。

職員は健康管理を徹底した上で勤務をしておりますが、職員が直接お話しさせていただく場合は防護板越しに対応させていただきます。

また、入院患者さまへの面会は原則的にご遠慮いただいております。洗濯物等のお預かりは病院正面の特設総合案内で行っておりますので、お時間を確認の上お越し下さい。



手術・病状の説明などは病院1階のお部屋にて感染対策を徹底した上で対応させていただきますいております。また、パソコンを使ったオンライン面会も導入いたしました。

今後は流行の状況をみながら感染予防対策を緩和させていただきますが、全面解除まで皆様のご協力とご理解を何卒よろしくお願いいたします。不安な日々を過ごされている方も多いと思いますが、皆様に笑顔の伝播が起りますよう心のこもった対応をさせていただきます。

させていただきます。

また、皆様からの温かい励ましのお言葉は職員一同の励みになっております。今後もマスクから溢れるほどの皆様への感謝と医療者としての責務を力とし、安心安全な医療をお届けしたいと思います。

かわしまクリニック

クリニック外来 師長

坂山 弘子

2020年2月から世界でコロナウイルス感染について大きくニュースで取り上げられ、遂に大分にも流行の波が訪れました。当クリニックにおいても、3月からは感染拡大を防ぐために対策を実施させていただきます。

患者さん、ご家族の方々にはご不便をおかけしていることも多々あると思いますが、ご理解とご協力のおかげにより現在まで経過しています。当クリニックの対策として

は、来院された患者さん、ご家族の方、お一人ずつ検温と手指消毒、マスクの着用をお願いしています。

また、3密を避けるために、換気をしながらの診察待機、



間隔を空けて椅子を設置しています。

発熱者の状態によっては、屋外のテントや車内で待機をして頂き、医師と看護師がそちらに移動して診察を行うようにしています。

その他には、3密や接触をなるべく避けるために、電話で医師とお話をして診察を受けて頂くといった電話再診や、通院間隔を長めに調整することなどの対策を取らせて頂いています。



これらの対策を開始した時期は、患者さん、職員ともに慣れない状況に戸惑う事もあり、ご負担をお掛けする事もありましたが、来院される患者さんやご家族の皆さんのおかげで何とかスムーズに対応させて頂く事が出来ていきます。検温時には、「測つてもらって安心した」「今日は何度？」など患者さん自身の不安の声を聞くことや感染に対する意識が高まっている事も感じました。

数か月経過した現在は、なんとかお互いに気をつけていきましようという雰囲気になり、私たちが声をかける前に、通院中の患者さんの方から「今日はリハビリ」「今日は診察よ」と伝えてくださり、「手洗いやうがいのはした方がいいですね」などの声も増えてきました。さらに、「今日もお疲れ様」と一声をかけて頂くことが何よりも、私たちの励みになっています。

今後も、コロナ感染との闘いは長期になることも懸念されます。コロナ感染の一日も早い終息を願いつつ、患者さん・職員にとって安全で安心できるクリニックとして、職員一丸となってこれからも出来る限りの対応をさせて頂きたいと思っています。



介護老人保健施設 なのみ

副施設長 沖本 稚佳子

令和2年2月より「新型コロナウイルス感染症」による社会的問題は、私達の身近な生活において多くの影響を及ぼしています。

「老健なのみ」にも様々な基礎疾患を持ち、感染リスクの高い要介護高齢者様が入所しています。そこで介護を提供する職員は入所者様と日常的に長時間接するため、特に注意して行動している毎日。



「利用者の中から感染者がでない」「職員自らが感染者・濃厚接触者にならない」ことを強く願い、常に緊張感を持ち感染予防対策を実行しながら日々の介護にあたっている現状です。2月25日より次の内容を実施。対策開始から3か月以上経過した現在においても感染症のない施設環境下で「安心・安全」な介護サービスを提供しているところであります。

〈2月より現在まで、施設感染予防対策マニュアルに準じ実践中〉

・利用者・職員の健康管理
(毎日常・夕、熱・健康観
察の徹底)

・手洗い・手指消毒・マスク

着用(必要時、フェイス
シールド)の徹底

・施設内環境対策の実行、

ゾーニングの実施
(清掃、消毒、換気、日常

生活ケア時の3密防止、
洗濯物・物品受け渡し玄関

対応等)
・面会制限

(ご家族へ個別情報提供、
1F⇄4Fオンライン面会

導入と実行、フェイスシ
ールド・フェイスボードを

用いた家族と職員面談)
・職員教育(3密防止しなが

ら、タイムリーな情報共有
と質向上学習等)

・個別ケア、集団レクリエ
ーションの充実

ご利用者様・ご家族様にお
いては面会・外出制限が続く

中、精神的ストレスを最小限

に出来るよう、施設独自の工
夫を取り入れ対応しておりま

す。その他、直面している困
難の1つにアルコール消毒等

衛生材料の不足があります。
現在の事態が長期化すれば

先の見通せない深刻な問題は
増加するばかりです。多くの

不安はありますが、何よりも
ご利用者様・ご家族様へ施設

職員から安心・安全な継続的
サービスの提供できることが

一番です。

今後も職員一丸とな

り「新型コロナウイルス
感染症」防止対策を

しっかりと実践し、終息
まで全力で質の高い施

設サービスの提供を目
指して参ります。

在宅事業部

部長 尾形 かおり

突然発生した新型コロナウイルス
イルス感染症は、瞬く間に世
界を席卷しました。

在宅事業部では多くの事業
所と同様に、職員を始め利用

者が感染することがないよう
に、また万一感染するような

ことがあっても拡大すること
がないように対応をしていま

す。そこで、その一部を紹介
させていただきます。

まず未知の感染症に不要な
怖れをいただくことを少なく

し、適切な行動をするために、
情報の収集と共有をしていま

す。そして、日頃実施している

標準予防策の徹底とマスクの

着用を行い、厚生労働省クラ
スター対策班からの提言や行

政からの通達に従い、感染症
を施設に入れない・うつらな

いたために、すべての生活にお
いて3密等の感染機会を避

け、出勤前の体温等の体調管
理をしています。また、施設
内でひろげない・うつさない
ために、社会的距離を意識し
共用する機器の消毒や接触飛
沫感染等の対策を行っていま
す。

利用者や家族の方に対して

は、新型コロナウイルス感染
症についての情報提供、日々

の体温測定や体調管理、サー
ビス利用時のマスク着用等の

助言や、正しい手洗いの方法
や消毒、換気や清掃について

の指導等を行っています。
今回の感染症のまん延で、

利用者の中にはサービスの利



用休止やサービス内容の変更
等が起こっています。さらに、
変化した生活や感染症に対す
る不安で大きなストレスがか
かっています。

この状況下で、利用者やご
家族が身体や心の健康を壊す
ことなく生活が送れるように
適切な情報を発信し、また私
達の支援が感染症で中断する
ことがないようにし、そして
今後起こり得る第2波・第3
波に備え、物品を確保し、対
応策を考えておくことが、現
時点の在宅事業部の感染症対
策です。



自宅でできる体操

病院リハビリテーション科 科長 奥村 晃司



みなさん運動されていま
すか? 「運動したいけど、
外出できないから」とあき
らめている方が多いのでは
ないでしょうか。また、「運
動する時間がないから」、
「運動するのは面倒」など
日々の生活の忙しさに負け
ている方。面倒、時間がな
いからと運動ができない理
由はたくさんあると思いま
す。いざ運動をしようと
思っても「どんな運動をし
たらいいの」、「運動は難し
いから」と運動の方法で困
ることもあるのではないか
と思います。

運動に対して内気なみな
さんに、ぜひやって頂きた

い『自宅でできる体操』を
紹介させて頂きます。この
運動は簡単です。座る場所
さえあれば、誰にでもでき
る運動です。しかも、10秒
から何時間でも運動ができ
ます。その名は、おうちで
できる「散歩マラソン!!」
です。散歩ならいいけれど、
マラソンなんてできないく
と言われるかもしれませんが
が、運動の方法によって散
歩、100m走、フルマラ
ソンのような運動ができま
す。運動方法は、写真のよ
うに『あたま』、『からだ』、
『おしり』が一直線になるよ
うに座り、両足は閉じる姿
勢が基本になります。この

姿勢は、正しい座り方の基
本です。次に両肘を90°に曲
げたまま、大きく
しつかり、ゆつくり
と腕を振ってください
い。肘は曲げ伸ばし
せずに、右手を前に
左手は後ろに、左手
を前に右手は後ろに
というように意識し
ながら繰り返してく
ださい。初めはゆつ
くりとこの運動を繰
り返し「楽しい散歩」
のように身体を動か
すことから始めま
す。運動に慣れてき
たら腕を速く強く振
ることで『100m

走』のような激しい運動を
することができません。自分
のペースでゆつくりと楽し
く運動をしたい方は、『フル
マラソン』のように長く時
間をかけて、おうちででき
る散歩マラソンに挑戦して

みてください。テレビをみ
ながら、家族とお話をしな
がら、無理せずにきつくな
く、楽チンな運動を、おうち
で楽しんでみてはいかが
でしょうか。

で



2020.5.18
「EPL断裂に対しELP腱移行術を施行された一例」
川端作業療法士

川島肩をカタろう会

2020.3.23
「当院における鏡視下腱板修復術後の再断裂について」
屋久理学療法士

2020.4.27
「鏡視下腱板修復術後の再断裂予防」
尾道理学療法士

2020.5.25
「鏡視下腱板修復術に対する運動療法」
クリニックリハビリテーション科幸嶋副主任

膝関節勉強会

2020.3.11
「脛骨近位端骨折について」
谷理学療法士

2020.4.8
「変形性膝関節症の基礎研究の動向」
クリニックリハビリテーション科羽田主任

2020.5.13
「ACL一次縫合術後のリハビリテーション～膝伸展制限を中心に～」
釘宮理学療法士

看護部勉強会

2020.3.2
「重症度、医療・看護必要度～診療報酬改訂の観点から」

院外発表・講演

2020.3.28
中津地方文化財協議会 (中津市)
「高野長英と中津」
川島理事長講演

2020.4.25
中津地方文化財協議会 (中津市)
「コロナウイルスと感染症の歴史について」
川島理事長講演

院内勉強会

モーニングセミナー

2020.4.10
「地域連携パスについて」
永芳クリニック所長

2020.5.15
「新型コロナウイルスについての最新情報」
川島院長

カワシマハンドセラピー研究会

2020.3.16
「手外科の用語・サイン・慣用語」
古江副院長

2020.4.20
「上腕骨遠位端骨折により肘関節可動域制限を呈した一症例」
永田作業療法士
「正中神経麻痺と前骨間神経麻痺と手根管症候群の概要」
大嶋作業療法士

医局抄読会

第1、2、4火曜日の朝7時45分スタート

2020.3.10
ウルトラショート大腿骨頸部温存人工股関節ラジオステレオメトリー分析とデュアルX線吸収法による段階的な2年間の追跡調査
川島院長

2020.3.24
初回TKAにおける従来型ポリエチレンとクロスリンクポリエチレンの比較
渡邊医長

2020.3.31
修復困難な腱板断裂に対する関節鏡視下肩上方関節包再建術の5年経過観察
佐々木診療部長

2020.4.7
転位した鎖骨骨幹部骨折の骨癒合は受傷後6週での評価により予測がより確かになる
後藤診療副部長

2020.4.14
ACL損傷に伴う内側側副靭帯の前額面での緊張の特徴
本山副院長

2020.4.28
大腿骨転子部骨折に対する髓内釘の長さの比較
古江副院長

2020.5.12
トシリズマブによるCOVID-19の重症患者の効果的な治療
川島院長

2020.5.26
人工関節置換術後の入院期間の長さは臨床成績に関係しない
渡邊医長

論文（共同含）・誌上発表

- 岸本進太郎, ほか: 遠位上腕二頭筋断裂例に対する腱移植直後のセラピー経験, 日本ハンドセラピー学会誌, 12(3): 141-145, 2020.
- 川島真人: 清水正嗣先生との思い出, 大分大学医学部歯科口腔外科同門会誌 特別企画「清水正嗣先生を偲んで」, : 2020.

脳神経外科外来

診療のお知らせ

脳神経外科外来は川鳶整形外科病院で診療を行っております。
診療日程は以下の通りです。

	月	火	水	木	金	土
午前	津末 9:30~12:00		赤池 9:00~12:00 第2・第4水曜日のみ	津末 9:30~12:00		
午後	津末 15:00~16:30	津末 14:00~16:30		津末 14:00~16:30	津末 15:00~16:30	



津末 輝彦 常勤医

脳神経外科一般外来
頭痛・めまい・認知症外来



赤池 裕司 非常勤医

脳神経外科一般外来
第2・第4水曜日のみ診療

脳神経外科の通常診療はもちろん頭痛・めまい・認知症についても積極的に診療を行っております。該当の症状でお困りの方は是非一度ご受診下さい。



社会医療法人 玄真堂 川鳶整形外科病院 (☎ 0979-24-0464)

編集後記

梅雨も明ける季節となりましたが、本格的な暑さの中で如何にして3密を避けるか試行錯誤しながら過ごしております。コロナと共に存する生活様式にはまだ戸惑いもありますが、皆様も気を付けてお過ごしください。

ラ・サンテも今夏の夏号より新メンバーでの活動となりました。お役に立つ情報の発信ができるよう広報委員一同取り組んでまいります。

また皆様からのご意見や投稿もお待ちしております。

1年間よろしくお願ひ致します。

(H・E)

【患者様の権利と患者様の責務】

患者様は、個人としての尊厳が守られ、平等で最善の医療を受ける権利を有するとともに、医療を効果的にするために守って頂きたい事項があります。

〔患者様の権利〕

1. 病気の種類や個人的背景に関係なく、平等に医療を受ける権利があります。
2. 人格は尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで最善の医療を受ける権利があります。
3. 医療に関して十分な説明、情報を求める権利があります。
4. 医療内容について自分で選択し決定する権利があります。
5. 自己の意思に反する医療を拒否する権利があります。
6. 自己の診療記録の開示を求める権利があります。
7. プライバシーや個人情報を保護される権利があります。
8. 健康維持のため教育やサービスを受ける権利があります。
9. 安全を確保される権利があります。

〔患者様の責務〕

1. 医療提供者に対し、患者様ご自身の健康に関する情報の提供
2. 他の患者様の療養生活に支障を与えない配慮
3. 早期回復の為、医療提供者が定めた規則の遵守
4. 円滑な医療行為の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
5. 早期回復の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
6. 診療費の遅滞ない支払い